（3月29日（土）　朝日新聞掲載）

●今後の行事予定

←→ 登録日　←→ 子牛セリ市開催日

5月

日	曜			
1	木	高原		
2	金	西 小林		
3	土	諸 憲法記念日	県	
4	日	みどりの日		
5	月	こどもの日		
6	火			
7	水	えびの		
8	木	野尻		
9	金			
10	土			
11	日			
12	月			
13	火	西都		
14	水			
15	木	都農		
16	金	児 川南		
17	土	湯		
18	日			
19	月	児湯		
20	火	児湯		
21	水			
22	木			
23	金	志和池・祝吉	沖水	
24	土			
25	日			
26	月	北 梅北・姫城	安久・五十市	
27	火	諸 高崎		
28	水	県 山田・西岳		
29	木	高城・庄内		
30	金	三股・山之口		
31	土			

串間　都城　延岡　小林　高千穂　宮崎

6月

日	曜			
1	日			
2	月			
3	火			
4	水	宮崎 宮崎・佐土原	南那珂 串間・大束	
5	木	南宮崎・田野	南郷・白南	
6	金	訪問		
7	土	児湯		
8	日			
9	月			
10	火			
11	水	高千穂・五ヶ瀬		
12	木	西臼杵 日之影・岩戸		
13	金	田原・上野		
14	土			
15	日			
16	月			
17	火			
18	水	都城		
19	木			
20	金			
21	土	小林		
22	日			
23	月			
24	火			
25	水			
26	木	児湯 安愚楽		
27	金	安愚楽		
28	土			
29	日			
30	月			

7月

日	曜			
1	火	東諸県 国富		
2	水	高岡・綾		
3	木			
4	金			
5	土			
6	日			
7	月	北浦・北川・北方		
8	火	東 延岡・門川・日向		
9	水	臼 南郷・西郷		
10	木	杵 北郷・諸塚		
11	金	椎葉		
12	土			
13	日			
14	月			
15	火			
16	水			
17	木			
18	金			
19	土			
20	日			
21	月	海の日		
22	火			
23	水			
24	木			
25	金			
26	土			
27	日			
28	月	西小林		
29	火	西		
30	水	諸 高原		
31	木	県 須木		

宮崎　串間　都城　延岡　高千穂　小林　児湯

8月

日	曜			
1	金	えびの		
2	土	西		
3	日	諸		
4	月	県 小林		
5	火	野尻		
6	水	児湯 安愚楽		
7	木			
8	金			
9	土			
10	日			
11	月			
12	火			
13	水			
14	木			
15	金			
16	土			
17	日			
18	月			
19	火	都城		
20	水			
21	木	山田・西岳		
22	金	高城・庄内	宮崎	
23	土			
24	日	北		
25	月	高崎 川南		
26	火	諸 三股・山之口		
27	水	都農	児湯 児湯	
28	木	県 志和池・祝吉	沖水	
29	金	児湯	梅北・姫城	安久・五十市 西都
30	土			
31	日			

串間　都城　延岡　小林　高千穂　宮崎

情報誌「宮崎牛」発行協賛団体

●宮崎県経済農業協同組合連合会　●宮崎県家畜改良事業団
●全国和牛登録協会宮崎県支部　●宮崎県畜産協会
http://miyazaki.lin.go.jp/

「宮崎牛」第50号の、発刊が遅れたことにつきましてお詫び申し上げます。
今回の記事は、当初3月発刊予定としていたために、当時の事柄が中心となっております。
今後は、定期的な発刊に努めますので、皆様のご理解をお願いいたします。

宮崎牛
2008年8月発行
No.50

発行所
社団法人 宮崎県畜産協会 ☎0985(41)9300

宮崎牛

2008年8月号　No.50

あいさつ

平成6年2月「世界に翔く宮崎牛」として創刊された本誌も、今回で第50号を迎えることができました。

当時は、ガット・ウルグアイラウンド合意により暫定税率が設定され、牛肉輸入自由化の波が押し寄せ始めた時期でした。

以来、皆様からのご意見ご要望をいただき、生産から流通、消費に到るまでの様々な情報を提供して参りました。

本年度は、全国和牛能力共進会における宮崎牛「日本一」の栄誉をお伝えすることができましたことは、誠に喜びに耐えません。

今後とも、本県肉用牛の更なる振興発展のため、情報提供を行っていきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

JA高千穂地区が、畜産大賞地域振興部門での最優秀賞受賞について知事に報告いたしました。

第110回JA宮崎経済連和牛枝肉共進会が開催されました。
（2月26日　（株）ミヤチク高崎工場）

目次（第50号）

1	第110回JA宮崎経済連和牛枝肉共進会を開催　～The　Champion　Brand2007～	From　経済連	1
2	2008　宮崎牛の更なる飛躍のために　～平成20年新春和牛懇談会より～	From　全和宮崎県支部	2
3	JA高千穂地区　最優秀賞受賞!～畜産大賞地域畜産振興部門～	From　畜産協会	3
4	配合飼料価格の高騰等に関する経営相談窓口の設置について	From　畜産協会	5
5	平成19年次都道府県別子牛取引頭数及び平均取引価格（黒毛和種）	From　畜産協会	5
6	美郷町南郷和牛改良組合の東臼杵管内、子牛平均価格第1位祝賀会について	From　畜産協会	6
7	新規・種雄牛紹介	From　家畜改良事業団	7
8	情報誌「宮崎牛」創刊50回記念	From　宮崎牛編集部	9
9	宮崎県における種雄牛の歴史	From　家畜改良事業団	11
10	各種共進会の成績	From　宮崎牛編集部	13
11	宮崎牛専門店「博多みやちく」　福岡市中州にオープン!	From　経済連	15
12	今後の行事予定	From　全和宮崎県支部	15

第110回 JA宮崎経済連和牛枝肉共進会を開催

The Champion Brand 2007

～黄金の風格　宮崎牛　さらなる飛躍、そして世界へ！～

JA宮崎経済連和牛枝肉共進会を平成20年2月26日(火)、㈱ミヤチク高崎工場で開催しました。

共進会には県内より選抜された113頭が出品され、JAはまゆうの(有)谷口畜産(代表取締役：谷口直美さん、場長：簑輪康宏さん)がグランドチャンピオンに輝きその後のセリで1キロ当たり8，020円(413万9千円)と高値取引されました。また、2席に野村広美さん(JA都城)が入賞され、JA都城が上位を占め、3回連続の団体賞に輝きました。谷口畜産は第105回共進会でもチャンピオンを獲得しており本共進会節目での快挙となりました。

今回と前回の(平成19年6月)の平均を比較すると、開催時期も関係して単価がわずかに下回ったものの、枝肉重量、ロース芯面積、BMSNo.などのほとんどの項目において上回りました。肉質等級についてもA5が42頭(37.2%)、A4が56頭(49.6%)と前回の上物率76.3%と比較して86.7%と10.4ポイント上回る結果になりました。

全国和牛能力共進会において宮崎牛日本一を獲得してから初めての共進会で副題も新たに黄金の風格にふさわしく入賞牛すべてがBMSNo.10以上と好成績であり、さらなる飛躍に期待できる結果でありました。

入賞	農協名	出荷者名	性別	血統 父	血統 母の父	血統 母の祖父	生体体重(kg)	DG	枝肉重量(kg)	枝肉歩留(%)	歩留等級 ロース芯(cm²)	歩留等級 バラ厚(cm)	歩留等級 皮下脂肪(cm)	歩留等級 推定歩留(%)	BMS(No.)	等級	単価(円／kg)
G.C	はまゆう	谷口畜産	去	上福	福之国	福桜	787	0.76	516.1	67.0	66	7.6	3.0	74.0	12	A5	8,020
2席	都城	野村広美	去	福之国	安平	隆桜	739	0.71	482.6	67.2	70	7.6	4.1	73.8	12	A5	6,510
3席	都城	薬師憲一	去	福之国	福桜	安平	804	0.75	547.1	68.4	62	9.3	2.6	74.5	11	A5	5,480
4席	都城	増田宏	去	福之国	隆桜	忠福	777	0.66	503.5	66.7	77	7.8	2.7	75.9	11	A5	4,510
5席	宮崎中央	肉用牛総合ファーム	去	福桜	福之国	安平	804	0.86	540.3	67.7	80	9.2	2.4	77.1	11	A5	4,050
6席	児湯	小守敏広	去	福之国	安平	糸秀	745	0.73	473.9	65.5	73	7.7	2.3	76.0	10	A5	3,800
7席	はまゆう	蓑毛稔治	去	福之国	福桜	糸秀	789	0.74	529.2	68.3	68	9.2	2.7	75.3	10	A5	3,600
出品牛113頭平均							763	0.75	488.0	65.3	64.4	8.0	2.9	74.4	6.9		2,664
109回（平成19年6月開催）平均							743	0.74	474.4	65.3	58.6	8.0	2.7	74.0	6.2		2,773

※平成20年6月24日に開催された第111回のJA宮崎経済連和牛枝肉共進会では、JA宮崎中央の㈲鎌田畜産がグランドチャンピオンに輝きました。この様子は次回の宮崎牛にて詳しくご紹介いたします。

ニレンパ　平成20年新春和牛懇談会を開催！

2008 宮崎牛の更なる飛躍のために

去る平成20年1月7日、宮崎観光ホテルにおいて社団法人全国和牛登録協会宮崎県支部主催による平成20年新春和牛懇談会を開催し約60名が集いました。

懇談会では、まず『第9回全国和牛能力共進会を振り返って』と題して、社団法人全国和牛登録協会事務局長の池田和徳氏から講演を頂きました。

その中で、『心・技・体』の言葉に準え、やる気を喚起し、若い技術員を取り込みながら、素材の選抜から出品に至る過程の中で真正面から弛まない努力を積み重ねた成果が『日本一』という輝かしい栄冠を手中に収める原動力となったことについて称賛の言葉を頂きました。そして、第9回全共の狙いである種牛能力と産肉能力を兼ね備えた和牛づくりや遺伝的多様性の維持拡大、地域の特色の強化、肉質・肉量兼備した肉牛づくり、次世代種雄牛の発掘、牛肉のうまみに関する追求など出品区の設定要件を交えて話を頂きました。

最後に、今後の課題として、現存する宮崎牛の力を揃えていくことの大切さ、優良牛の地域保留に力を注ぐことの大切さを力説されました。

次に、『"宮崎牛"第9回全国和牛能力共進会を振り返って』と題して県支部の長友明博業務部長が全共報告を行いました。その中で第9回全共において日本一になることはゴールではなく、通過点である、宮崎県の和牛農家の経営(繁殖・肥育)が日本一になるための

一つのステップ、どこの県より早く確実に走り続けることが大切、出品対策は万全であったか、宮崎牛の改良対策はどうか、増頭対策はどうか、広く和牛経営の安定と向上につながるか、将来において確固たる体制が構築できているか、共に考え、反芻し日々努力しましょうと問いかけました。そして、第9回全共での取り組みやエピソードを交え、今に満足することなく、多くの方々がともに競い合うことによって、より高いレベルを求めていくことができる、みんながヒーロー、素晴らしきヒーローたちに感謝しますと報告を終えました。

続いて、『2008(ニレンパ)　宮崎牛の更なる飛躍のために』をテーマにパネルディスカッションを行いました。パネラーとして、県畜産課の永田建一主幹、宮崎中央農協の木下保洋課長、こばやし農協の榎窪正文係長、高千穂地区農協の藤原和昭課長、計4名の方々が登壇されました。第9回全共での取り組みを振り返りながら、出品対策の士気を高めるための方策、肉牛の部の出品対策の課題、更なる宮崎牛の改良等について熱のこもった討議を行いました。

このような中で、宮崎牛の更なる飛躍のための取り組みとして、更には第10回全共に向けた取り組みとして、県内7地域持ち回りの若手技術員研修会開催の提案がなされるなど、終始宮崎牛へ寄せる熱い想いが交わされ意義深い懇談会となりました。

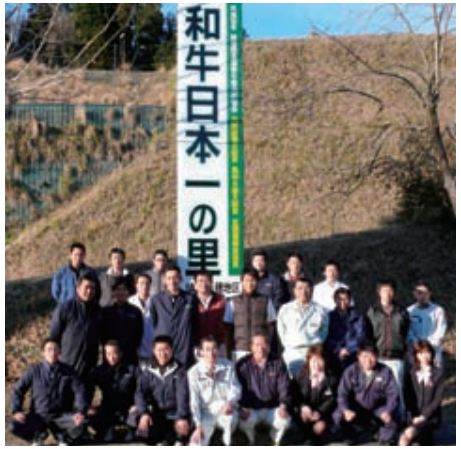
JA高千穂地区
畜産大賞地域畜産振興部門 最優秀賞受賞

JA高千穂地区が、中央畜産会主催の平成19年度「畜産大賞」の地域畜産振興部門において、最優秀賞を受賞いたしましたので、その内容を紹介いたします。

この「畜産大賞」は、経営部門、地域畜産振興部門、研究開発部門の3部門で構成され、JA高千穂が受賞された「地域畜産振興部門」は、“畜産を核とした地域おこし”や“地域の活性化”に貢献している活動事例について表彰されるものです。

受賞にいたっては、まず書類審査において「山間地域の肉用牛増頭の取り組み」が評価され、現地調査対象事例として選考されました。高千穂町で行われた現地調査は、当部門審査委員長の京都大学名誉教授稲本先生をはじめとする3名の先生方や地元関係機関の立ち会いのもとに行われました。

現地調査では、肉用牛関連施設の現場視察やJA高千穂地区畜産部での聞き取り調査が行われるとともに、夜神楽や雲海などの高千穂の風景や歴史、文化に触れていただき、審査委員の先生方からは、「高千穂の肉用牛は、古くから種牛の産地として地域に根ざした作目であること」「地域の経済や暮らしにとって、肉用牛を振興することが最善策である

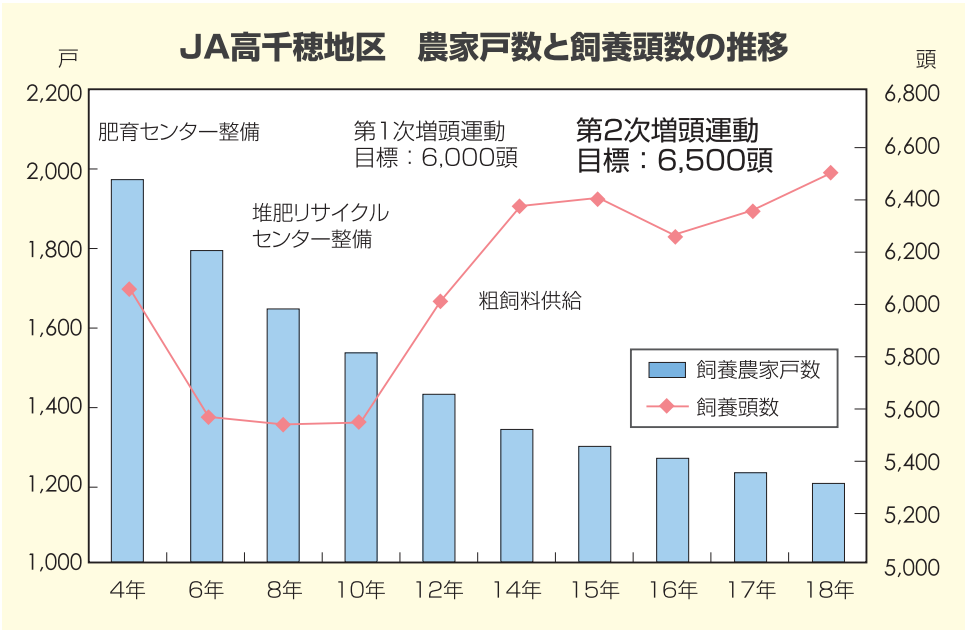


こと」など、JA高千穂地区が掲げた肉用牛の振興の方向が確かであり、その成果が表れているとの高い評価をいただきました。

2月4日東京都で開催された表彰式では、JA畜産部の佐藤部長が、「これまでの取り組みや増頭経過、今後の課題等」について発表されました。特に、肉用牛生産者一人一人の努力と地域住民の畜産に対する理解により現在の6,500頭が達成され、肉用牛が地域産業の柱として定着していることを強調されていました。

評価のポイント

①経営規模が零細で、過疎化や高齢化が進む典型的な山間地域の中で、増頭目標を掲げた「肉用牛増頭運動」により、約10年間で1,000頭の増頭を実現し、地域振興に大きく貢献した。
②JAが中核となって、地域畜産技術員で構成する「西臼杵畜産技術員協会」と、肉用牛農家全戸が加入する「農協畜産連絡協議会」の一体となった連携活動。
③他県からの粗飼料調達と供給体制の整備やヘルパー機能を持つサポートシステムの構築など様々な取り組み。



JAが近県の飼料生産組合から稲わら等を確保・供給

高齢者にも配慮した支援体制を構築

「放牧ネットワーク」の誕生

6,500頭達成時の祝賀会

配合飼料価格の高騰等に関する経営相談窓口の設置について

昨今の配合飼料価格の高騰等により、畜産経営が非常に厳しい状況に直面していることは皆様周知の通りです。

畜産協会では飼料高騰に係る経営相談窓口を設置し、制度資金の借り入れ等に関するアドバイス、各種事業の紹介と助言等の経営相談を実施しております。

相談窓口では、主に次のような事項についての対応をいたしますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

1. 「家畜飼料特別支援資金」をはじめ、畜産経営に関する資金の紹介や、各種資金の借入に関する助言
2. 畜産の経営安定、生産性向上、生産コスト低減のための各種事業の紹介・助言
3. 配合飼料価格高騰に対応した飼養、給与等の技術改善、生産方式の転換等の家畜の生産性向上のための飼養管理技術等の情報提供
4. 経営改善や経営技術向上のための支援・助言

お問い合わせ先／社団法人宮崎県畜産協会　経営支援部
電話：0985−41−9303　FAX：0985−24−3774

地域便り

東臼杵郡美郷町南郷和牛改良組合の東臼杵郡管内、子牛平均価格第１位祝賀会について

南郷和牛改良組合は「百済の里」で有名な美郷町南郷区にあります。現在、黒木郁治組合長を中心に会員45名で母牛286頭を飼育しています。

以前は、郡内でも子牛価格は下位にありましたが、平成19年度に於いて、牝子牛523千円、去勢子牛548千円となり、郡内第1位の平均価格となりました。

（平成18年度は郡内第2位の平均価格でした。）

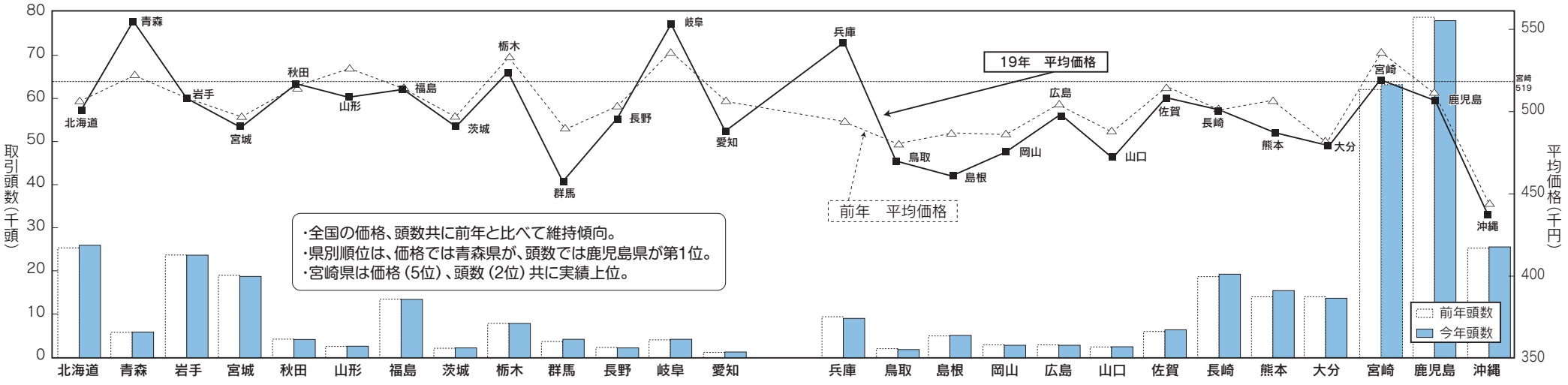
これも、ひとえに組合員の努力と、指導員（中山獣医、田村、金丸技師）の指導のたまものであります。

今回この快挙を組合員、関係者でお祝いする為に、3月21日祝賀会を開催致しました。

当日は歴代の村長、課長を招待するとともに黒木組合長自らも、神楽を舞っていただきお祝いに花を添えていただきました。

平成19年次都道府県別子牛取引頭数及び平均取引価格（黒毛和種）

取引頭数が1,000頭以上の都道府県



（単位：千円、頭）

県名	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	長野	岐阜	愛知	兵庫	鳥取	島根	岡山	広島	山口	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	全国
平均価格	500	555	508	490	516	508	513	490	524	457	495	553	487	542	469	461	475	497	472	509	501	487	479	519	506	437	501
取引頭数	25,968	5,959	23,755	18,837	4,231	2,609	13,524	2,267	7,958	4,224	2,328	4,275	1,374	9,225	2,062	5,179	2,902	2,824	2,644	6,673	19,380	15,658	13,863	63,493	78,258	25,761	368,640
前年価格	505	522	508	496	513	526	514	496	532	488	503	536	506	494	480	487	486	504	488	515	501	507	481	536	511	445	507
前年頭数	25,257	5,866	23,713	19,006	4,284	2,615	13,547	2,179	7,898	3,791	2,363	4,182	1,299	9,500	2,118	5,127	2,949	2,884	2,663	6,177	18,861	14,203	14,124	62,262	78,992	25,506	364,499

注1）平均価格については、消費税込みの価格である。　注2）頭数については、売却頭数を示す。　注3）データについては、独立行政法人農畜産業振興機構の「全国の肉用子牛取引情報（月報）」から引用した。（なお集計対象は日齢100日以上～400日以下、体重100kg以上～340kg以下）

種雄牛紹介　現場後代検定　枝肉成績判明

脂肪交雑6.9 充実した産肉形質

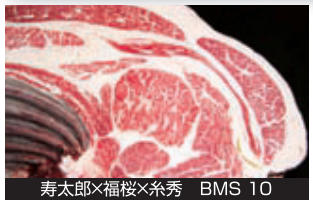
寿太郎（じゅたろう）号

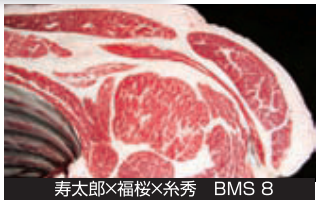
生年月日／平成15年3月10日
産　　地／川南町
生 産 者／松浦 よつ子

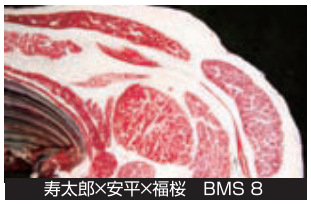
測尺値	
体 高	148.0cm
体 長	184.2cm
体 重	850kg

血 統		
平茂勝 黒原2441 (89.0)	第20平茂	気 高
		第13ひらしげ
	ふくみ	宝 勝
		はつこ
まつこ 黒原953060 (80.4)	安 平	安 福
		きよふく
	ひでたから	糸 秀
		み ち

現場後代検定成績（ステーション方式）			
頭数（去勢）	枝肉重量（kg）	ロース芯面積（㎠）	バラ厚（cm）
13	484.1	66.0	8.1
皮下脂肪厚（cm）	推定歩留（%）	BMS	4･5等級率（%）
2.5	75.1	6.9	92.3


寿太郎×福桜×糸秀　BMS 10


寿太郎×福桜×糸秀　BMS 8


寿太郎×安平×福桜　BMS 8

新規種雄牛紹介

安高平（やすたかひら）号

第5栄光系の希少因子

生年月日／平成18年8月3日
産　　地／高原町
生 産 者／受精卵センタ……

血 統

安 平 黒原2208 (84.0)	安 福	田安土井
		かずよ
	きよふく	安 福
		きよしげ
さかえ 黒原710835 (82.1)	頼 山	秀 安
		はなさき5
	第1けさみつ5*	初 栄
		第1けさみつの5

直検定成接績	DG	365日補正体重	得点
	1.11kg／日	411.5kg	83.2

測尺値	月齢	体高	体長	胸囲	体重
	18.7	137.0cm	157.0cm	192cm	560kg

試験交配期間	現場後代検定開始	枝肉調査
平成20年1月	平成21年7月	平成23年3月～6月

新規種雄牛紹介

上茂勝（かみしげかつ）号

宮崎牛継承に期待が高まる兵庫系種雄牛

生年月日／平成18年6月6日
産　　地／高千穂町
生 産 者／工藤　英二

血 統

茂勝土井 黒13378 (81.6)	茂 勝	茂重波
		ひでかつ
	さ ち	菊安土井
		えりか
ゆ り 黒原1162773 (81.6)	上 福	谷福土井
		ゆきひめ6
	ひらゆり	安 平
		ひらり

直検定成接績	DG	365日補正体重	得点
	1.15kg／日	370.7kg	81.8

測尺値	月齢	体高	体長	胸囲	体重
	20.4	140.0cm	159.2cm	193cm	549kg

試験交配期間	現場後代検定開始	枝肉調査
平成20年4月	平成21年10月	平成23年6月～9月

北照安（きたてるやす）号

糸桜系、気高系母体への展開

生年月日／平成18年7月24日
産　　地／国富町
生 産 者／廻尾　靖

血 統

北金波1 黒13195 (81.8)	茂重波	茂金波
		しげみつ
	もりひめ2	菊照土井
		たにひめ
ま ゆ 黒2086246 (82.0)	照 萩	照長土井
		き こ
	なつえ	安 平
		いわなみ

直検定成接績	DG	365日補正体重	得点
	1.05kg／日	384.0kg	81.7

測尺値	月齢	体高	体長	胸囲	体重
	18.8	138.4cm	151.0cm	185cm	515kg

試験交配期間	現場後代検定開始	枝肉調査
平成20年5月	平成21年11月	平成23年7月～10月

特集　情報誌「宮崎牛」創刊50回記念

本誌を創刊した平成6年当初は子牛価格が低迷した年にあたり、これまでに平成12年3月の口蹄疫発生、平成13年9月のBSE確認等を経験し、近年では、飼料価格が高騰する中にあって、畜産経営は全国的に厳しい状況におかれています。

この間に本県では、県内で造成した数々の優秀な種雄牛が活躍することで市場性が更に向上し、子牛価格は全国の中で常に上位に位置する等、産地として確固たる地位を築いてきております。

また、各種の共進会において、種牛の部、肉牛の部いずれも上位の成績を収め、飼育管理技術等のレベルアップとともに更に「宮崎牛」の評価が高まってきました。

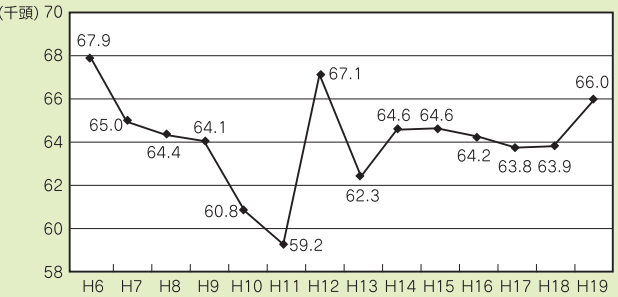
先般の第9回全国和牛能力共進会において日本一の評価を得られたことは、先人達の功績と生産者のたゆまない努力、また関係各位のご指導、ご助言のたまものといえるのではないでしょうか。

今回、第50回を記念しまして、本誌「宮崎牛」が創刊された平成6年から現在までを、県内各種情報の推移、種雄牛の移り変わり、各種共進会の成績等をテーマに振り返りたいと思います。

子牛セリ市売却頭数の推移

子牛セリ市売却頭数は11年度まで減少傾向にありましたが、12年度から増加に転じ、その後の維持期間を経て19年度に大きく増加しています。

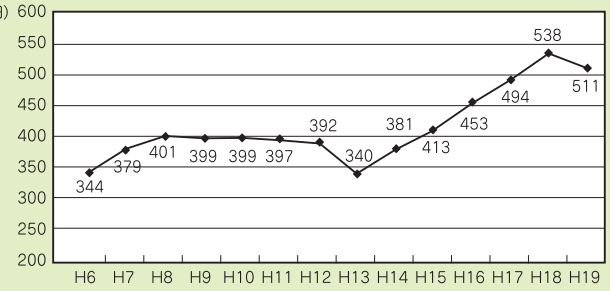
なお、12年度の大幅な増加は、12年3月末に開催予定だった2市場が口蹄疫の影響で5月に延期されたことによります。



子牛セリ市売却価格の推移

本県の子牛セリ市売却価格は13年度にBSEの影響を受け、一旦低下しましたが、その後は右肩上がりに推移し、18年度平均では畜産協会が集計を始めてからの最高価格を記録しました。

価格は19年度も堅調に推移しましたが、20年度は価格が低下する傾向にあります。

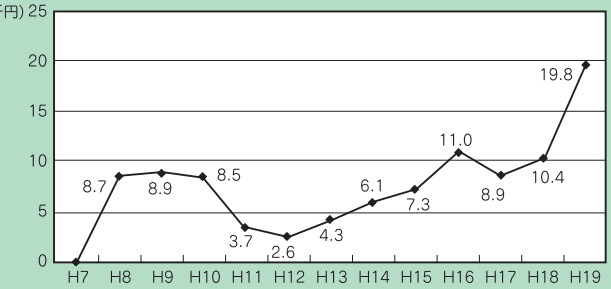


(社団法人宮崎県畜産協会調べ)各市場から報告された子牛セリ市データより集計。
※雌・去勢の合計値(売却のみ)を示します。

配合飼料価格改定幅の推移

宮崎経済連取り扱い配合飼料価格改定幅を、7年度の価格を基準として集計すると、8年度に上昇しましたが、18年度までは、比較的安定に推移しました。

しかしながら、19年に輸入穀物価格高騰の影響により大きく上昇し、飼料価格を取り巻く情勢は、厳しいものとなっております。

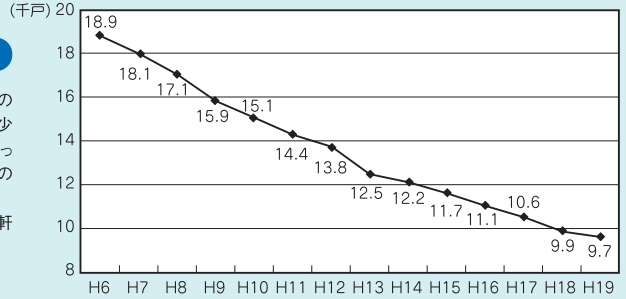


(宮崎経済農業協同組合連合会調べ)平成7年からの価格改定幅を集計。
※四半期毎の単純平均を示します。

繁殖農家戸数の推移

本県の肉用牛繁殖農家戸数は、担い手の高齢化・後継者不足を主な要因として減少傾向を辿り、平成6年には約18,900軒あった農家軒数は、平成19年にはおよそ半分の約9,700軒まで減少しました。

直近の5年間を平均すると年間約500軒の減少となっています。

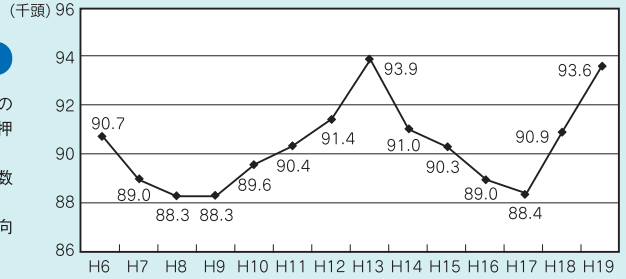


繁殖雌牛頭数の推移

本県の肉用牛繁殖雌牛頭数は、地域での増頭運動の成果と好調な子牛価格にも後押しされ、平成18年から大きく増加しています。

これは平成9年から平成13年の増加頭数を、わずか2年間で達成したことになります。

総体としては、増加と減少を繰り返す傾向を示しています。

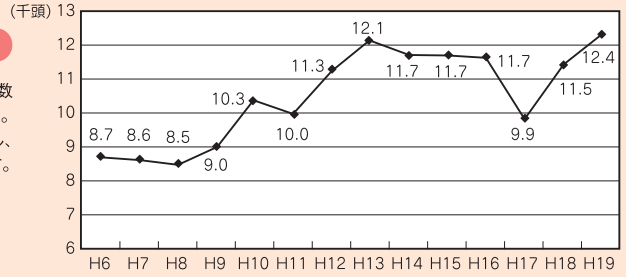


(社団法人宮崎県畜産協会調べ)
※各JAに調査を委託する子牛生産拡大奨励事業実績より集計。なお、頭数には1歳未満を含みません。

登録受検頭数の推移

本県の和牛繁殖雌牛の登録受検頭数は、総体としては増加傾向で推移しています。

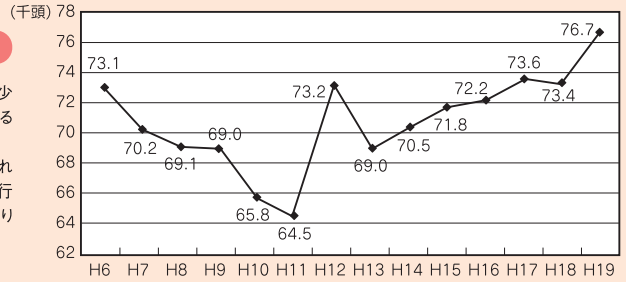
積極的に繁殖雌牛の導入・保留を推進し、繁殖雌牛集団全体の若返りを図っています。



子牛登記頭数の推移

本県の子牛登記頭数は11年度まで減少傾向にありましたが、12年度以降は増加する傾向にあります。

なお、12年が大きく増加していますが、これは口蹄疫発生に伴い家畜の移動制限が行われたことで、前年分がずれ込んだことによります。



(全国和牛登録協会宮崎県支部調べ)和牛登録頭数実績より集計

特集　情報誌「宮崎牛」創刊50回記念

本誌を創刊した平成6年当初は子牛価格が低迷した年にあたり、これまでに平成12年3月の口蹄疫発生、平成13年9月のBSE確認等を経験し、近年では、飼料価格が高騰する中にあって、畜産経営は全国的に厳しい状況におかれています。

この間に本県では、県内で造成した数々の優秀な種雄牛が活躍することで市場性が更に向上し、子牛価格は全国の中で常に上位に位置する等、産地として確固たる地位を築いてきております。

また、各種の共進会において、種牛の部、肉牛の部いずれも上位の成績を収め、飼育管理技術等のレベルアップとともに更に「宮崎牛」の評価が高まってきました。

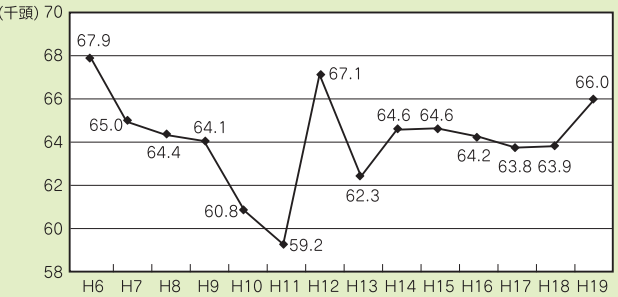
先般の第9回全国和牛能力共進会において日本一の評価を得られたことは、先人達の功績と生産者のたゆまない努力、また関係各位のご指導、ご助言のたまものといえるのではないでしょうか。

今回、第50回を記念しまして、本誌「宮崎牛」が創刊された平成6年から現在までを、県内各種情報の推移、種雄牛の移り変わり、各種共進会の成績等をテーマに振り返りたいと思います。

子牛セリ市売却頭数の推移

子牛セリ市売却頭数は11年度まで減少傾向にありましたが、12年度から増加に転じ、その後の維持期間を経て19年度に大きく増加しています。

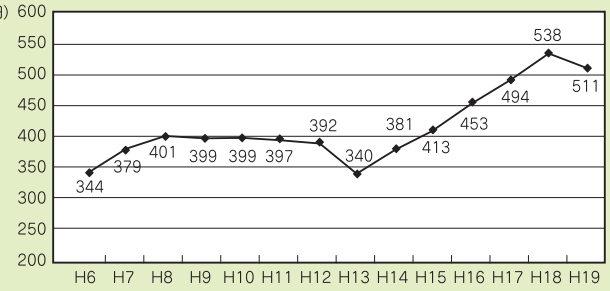
なお、12年度の大幅な増加は、12年3月末に開催予定だった2市場が口蹄疫の影響で5月に延期されたことによります。



子牛セリ市売却価格の推移

本県の子牛セリ市売却価格は13年度にBSEの影響を受け、一旦低下しましたが、その後は右肩上がりに推移し、18年度平均では畜産協会が集計を始めてからの最高価格を記録しました。

価格は19年度も堅調に推移しましたが、20年度は価格が低下する傾向にあります。

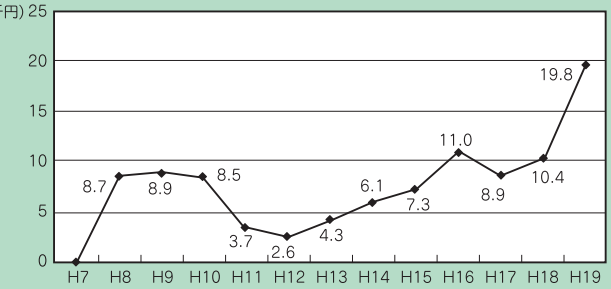


(社団法人宮崎県畜産協会調べ)各市場から報告された子牛セリ市データより集計。
※雌・去勢の合計値(売却のみ)を示します。

配合飼料価格改定幅の推移

宮崎経済連取り扱い配合飼料価格改定幅を、7年度の価格を基準として集計すると、8年度に上昇しましたが、18年度までは、比較的安定に推移しました。

しかしながら、19年に輸入穀物価格高騰の影響により大きく上昇し、飼料価格を取り巻く情勢は、厳しいものとなっております。

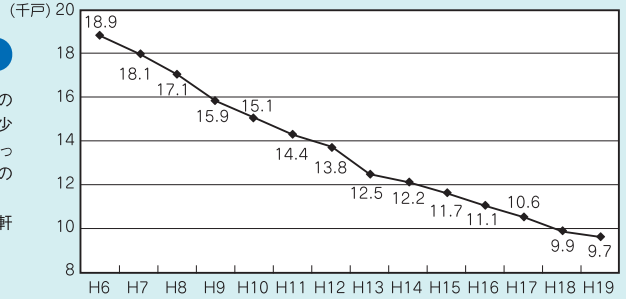


(宮崎経済農業協同組合連合会調べ)平成7年からの価格改定幅を集計。
※四半期毎の単純平均を示します。

繁殖農家戸数の推移

本県の肉用牛繁殖農家戸数は、担い手の高齢化・後継者不足を主な要因として減少傾向を辿り、平成6年には約18,900軒あった農家軒数は、平成19年にはおよそ半分の約9,700軒まで減少しました。

直近の5年間を平均すると年間約500軒の減少となっています。

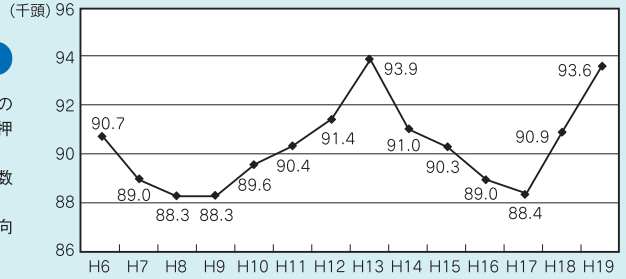


繁殖雌牛頭数の推移

本県の肉用牛繁殖雌牛頭数は、地域での増頭運動の成果と好調な子牛価格にも後押しされ、平成18年から大きく増加しています。

これは平成9年から平成13年の増加頭数を、わずか2年間で達成したことになります。

総体としては、増加と減少を繰り返す傾向を示しています。

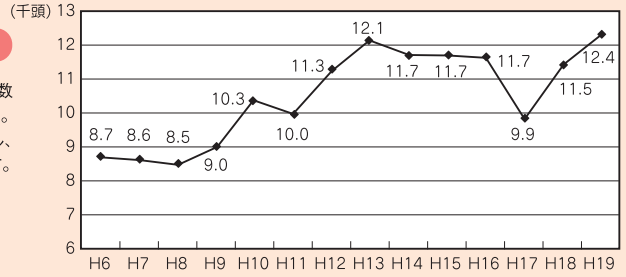


(社団法人宮崎県畜産協会調べ)
※各JAに調査を委託する子牛生産拡大奨励事業実績より集計。なお、頭数には1歳未満を含みません。

登録受検頭数の推移

本県の和牛繁殖雌牛の登録受検頭数は、総体としては増加傾向で推移しています。

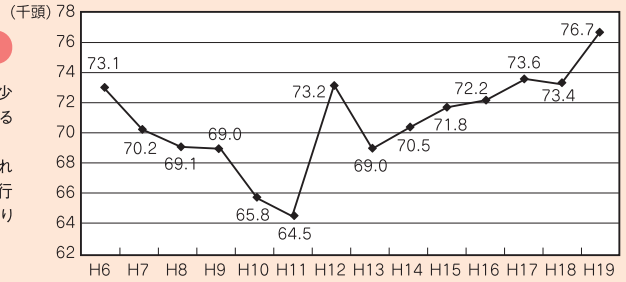
積極的に繁殖雌牛の導入・保留を推進し、繁殖雌牛集団全体の若返りを図っています。



子牛登記頭数の推移

本県の子牛登記頭数は11年度まで減少傾向にありましたが、12年度以降は増加する傾向にあります。

なお、12年が大きく増加していますが、これは口蹄疫発生に伴い家畜の移動制限が行われたことで、前年分がずれ込んだことによります。



(全国和牛登録協会宮崎県支部調べ)和牛登録頭数実績より集計

第50号　宮崎牛　平成20年8月

宮崎県における 種雄牛の歴史

6年 7年 8年 9年 10年 11年 12年 13年 14年 15年 16年 17年 18年 19年 20年

安　平
（安福（宮崎）×安福（岐阜））

間接検定
D.G　0.95kg
ﾛｰｽ芯　53㎠
脂肪交雑　3.0

福　桜
（隆桜×安福（岐阜））

上　福
（谷福土井×菊照土井）

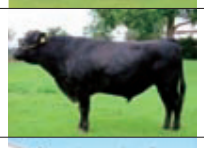
但馬牛の血量を高め安定した産肉性を求め、田尻系の上福（父　谷福土井）、菊美系の照萩（父　照長土井）を導入。
安平、福桜との相性も良く安定した産肉性を発揮し、宮崎牛銘柄確立に貢献していく。

間接検定
D.G　0.93kg
ﾛｰｽ芯　48㎠
脂肪交雑　3.5

照　萩
（照長土井×菊照土井）

福之国
（北国7の8×福茂）

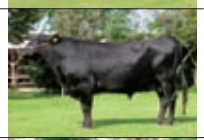
日向国
（北国7の8×隆美）



茂勝土井
（茂勝×菊安土井）

糸茂勝
（茂勝×安平）

勝平正
（平茂勝×安平）



忠富士
（平茂勝×安平）

現在、
安平を代表とする田尻系から福之国、日向国といった糸桜系、そして勝平正、忠富士の気高系と移り変わってきている。また、繁殖母集団の構成も種雄牛の変化とともに世代交代がなされている。

※色付きの部分は併用期間を示しています。

田尻系

昭和62年当時、全国的に肉質において高い評価を得ていた岐阜の「安福」の産子「きよふく」号が導入される。
きよふくは、父「安福」の産肉性の高さを強く受け継ぎ、安平、福桜といった優秀な種雄牛を輩出し、宮崎牛を全国区に押し上げる。

気高系

間接検定
D.G　1.02kg
ﾛｰｽ芯　53㎠
脂肪交雑　3.4

田尻系

菊美系

間接検定
D.G　0.90kg
ﾛｰｽ芯　49㎠
脂肪交雑　4.1

これからは、消費者の食の安全に対する関心、健康志向も高まり、肉の旨味、脂肪の質が求められることから、今後の改良には但馬牛（田尻系、熊波系、菊美系）の血量が必要となってくる。
そこで
田尻系…北平安　安秀165
熊波系…茂　勝　北金波1
北茂勝96
糸桜系…寿恵福　第1花国
気高系…東末博　雲仙丸
といった種雄牛を指定交配し、次世代を担う種雄牛が造成されていく。

平成7年当時、宮崎県内では、田尻系（但馬牛）を中心に肉質の改良が進められ、更に肉量の充実を図るため、家畜改良事業団（国）から産肉性、増体性ともに兼ね備えた糸桜系の「北国7の8」の精液が導入され、気高系の母牛を中心に交配が進められ、福之国、日向国ら合計9頭の種雄牛が生産される。

糸桜系

間接検定
D.G　0.94kg
ﾛｰｽ芯　53㎠
脂肪交雑　4.2

間接検定
D.G　0.97kg
ﾛｰｽ芯　56㎠
脂肪交雑　3.8

全国的に肉質の改良（特に脂肪交雑）が激しくなるなか、肉の旨味、風味、食感といった食嗜好も重要視されるようになる。
そこで肉質はもちろんのこと増体性にも優れ、兵庫を代表する熊波系種雄牛、宮城県の「茂勝」の精液が導入され、平成10年から種雄牛造成が進められる。

熊波系

現場後代検定
枝肉重量　466.0kg
ﾛｰｽ芯　55.6㎠
BMS　5.4

現場後代検定
枝肉重量　463.9kg
ﾛｰｽ芯　53.9㎠
BMS　6.3

安平とともに西の横綱と称される「平茂勝」の精液が平成12年に宮崎に導入され、種雄牛造成が開始される。
産肉性に優れている宮崎の牛に繁殖性、増体性に富んだ平茂勝の因子を導入することで、更なる安定した子牛生産を目指し、質量兼備の改良が展開される。

気高系

現場後代検定
枝肉重量　480.2kg
ﾛｰｽ芯　59.3㎠
BMS　6.6

現場後代検定
枝肉重量　509.6kg
ﾛｰｽ芯　60.9㎠
BMS　7.3

第50号 宮崎牛 平成20年8月

各種共進会 の成績

○全国和牛能力共進会

（敬称略、旧市町村名記載）

年	月	回	開催県	開催テーマ	宮崎県出品牛成績
平成9	10	7	岩手県	「育種価とファイトで伸ばす和牛生産」	11部門中10部門で優等賞を受賞、うち3部門で首席となりました。
平成14	10	8	岐阜県	「若い力と育種価で早めよう 和牛改良、伸ばそう生産」	10部門中7部門で優等賞受賞、うち2部門で優等賞2席、1部門で優等賞3席を獲得しました。
平成19	10	9	鳥取県	「和牛再発見! -地域で築こう和牛の未来-」	第9回全共出品対策技術表彰団体優勝、全部門で優等賞受賞。全9部門のうち7部門で首席、3部門で優等賞2席、2部門で優等賞3席を獲得し、全ての出品牛が優等賞を受賞しました。また、種牛・肉牛共に名誉賞を獲得しました。

〔第７回全国和牛能力共進会宮崎県代表牛成績〕

【１区〔若雄の１〕宮崎県(溝辺秋政)／ 優等11席】【２区〔若雄の２〕宮崎県(溝辺秋政)／ 優等４席】【４区〔若雌の１ ・ 単品〕甲斐頼明／ 優等６席・永友浄／ 優等首席】【５区〔若雌の２・単品〕黒木忠雄／ 優等首席・甲斐栄／ 優等６】【６区〔若雌の３・単品〕宇都行夫／ 優等11席・古川重久／ 優等15席】【7区〔若雌・父系牛群〕茶木和久・迫間清重・田上義行・川内藤義／ 優等７席(産肉種牛賞)】【８区〔繁殖雌牛群〕岡原正春・山田真司・永田景行・田中四男 ／優等７席】【９区〔高等登録群〕谷之木秀幸 ／優等２席】【10区〔肥育・父系牛群〕渕上正治・ＪＡ宮崎中央 ／ 優等首席】【11区〔父系去勢肥育牛群〕別納軍一・柏原博文／ 優等4席】

〔第８回全国和牛能力共進会宮崎県代表牛成績〕

【２区〔若雄の２〕宮崎県(家畜改良事業団)／ 優等６席】【３区〔若雌の１〕永友浄／ 優等４席・谷口實／ 優等３席】【４区〔若雌の２〕永友浄／ 優等２席】【５区〔若雌牛群〕小田正広・竹ノ内寛綱・落合奉夫・奥野松美 ／ 優等4席】【6区〔繁殖雌牛群〕林秋廣・馬原由明・甲斐和広・佐藤良輝 ／優等５席】【８区〔総合評価群〕(種牛の部)寺前辰雄・山田真司・河野哲慶・今村鉄男 (肉牛の部) 小倉光彦・ＪＡ綾町・ＪＡ高千穂地区 ／優等２席】【９区〔若雄後代検定牛群〕竹之内利弘・奥野正道・田中利治／ 優等７席】【10区〔父系去勢肥育牛群〕福永昇・別納軍一・ＪＡ高千穂地区 ／壱等賞】

〔第９回全国和牛能力共進会宮崎県代表牛成績〕

【１区〔若雄〕宮崎県(家畜改良事業団) ／優等３席】【２区〔若雌の１〕興梠哲法 優等首席・永友浄／ 優等２席】【３区〔若雌の２〕一万田七郎 優等首席・甲斐和広／ 優等３席】【４区〔系統雌牛群〕】佐藤泉・井植盛行・林秋廣・甲斐辰己 ／優等首席名誉賞(内閣総理大臣賞)】【５区〔繁殖雌牛群〕】川上芳明・増田純一・渡部利明・緒方セツ／ 優等首席】【６区〔高等登録群〕今村鉄男／ 優等２席】【7区〔総合評価群〕(種牛の部)山下広次・永野博文・山田真司・入佐久男(肉牛の部)山下一二・馬場牧場・JA綾町 ／優等首席】【８区〔若雄後代検定牛群〕JA宮崎中央・小倉光彦／ 優等首席名誉賞(内閣総理大臣賞)】【９区〔去勢肥育牛〕福永昇／ 優等首席・小倉光彦／ 優等２席】

○宮崎県畜産共進会（※は宮崎県肉畜共進会、種牛の部での平成6、7年は組受賞）

年	月	回	開催地(メイン会場)	種牛の部		枝肉の部	
				グランドチャンピオン	団体賞	グランドチャンピオン	団体賞
平成6	10	46	南那珂	市来原博(川南町) 三輪　正(都農町) 山田善常(高鍋町)	西臼杵畜連	黒木卓(北郷町)	宮崎畜連
平成7	10	47	児湯	谷之木秀幸(小林市) 鬼塚　稔　(　〃　) 河野哲慶　(　〃　)	児湯畜連	岩崎勝也(川南町)	西諸畜連
平成8	10	48	小林	杉元豊人(野尻町)	西諸畜連	吹上忠義(都城市)	児湯畜連
平成9	10	49	都城	上田孝雄(山之口町)	都城農協	尾崎宗春(宮崎市)	高千穂地区農協
平成10	10	50	高鍋	黒木栄子(都農町)	児湯畜連	薬師憲一(高崎町)	高千穂地区農協
平成11	10	1	高崎(※)	―	―	山之口五男(小林市)	宮崎中央農協
平成12	10	2	高崎(※)	―	―	岩崎勝也(川南町)	東臼杵畜連
平成13	10	51	小林	有馬清人(綾町)	児湯畜連	(有)馬場牧場(小林市)	西諸県畜連
平成14	10	3	高崎(※)	―	―	日高道夫(国富町)	宮崎中央農協
平成15	10	52	南那珂	黒木忠雄(都農町)	児湯畜連	金丸良隆(西都市)	南那珂畜連
平成16	10	4	高崎(※)	―	―	甲斐健一(高千穂町)	西諸畜連
平成17	10	53	都城	佐藤政俊(高千穂町)	高千穂地区農協	岩下盛明(野尻町)	西諸畜連
平成18	10	5	高崎(※)	―	―	JA宮崎中央肉用牛総合ファーム(宮崎市)	児湯畜連
平成19	10	54	児湯	宮崎県立高鍋農業高校	児湯畜連	稲本民雄(串間市)	はまゆう農協

○九州管内系統和牛枝肉共励会の結果概要

開催(セリ)		回	出品頭数	生体重量(kg)			枝肉重量(kg)			平均歩留(%)	5等級率		販売単価　円/kg		褒賞				
年	月			最高	最低	平均	最高	最低	平均		頭数	率	最高	平均	個人賞			団体優秀賞	団体努力賞
平成6	9	18	120	752	568	689	490.3	351.2	432.2	62.6	48	42.9	7,510	2,614	金:宮崎	日南	安楽重光	佐賀	長崎
平成7	9	19	120	760	574	691	490.8	344.3	432.7	62.6	37	30.8	18,000	2,570	金:佐賀	伊万里市	林　司	佐賀	沖縄
平成8	9	20	136	780	608	707	520.8	372.9	449.7	63.6	69	50.7	8,110	2,498	金:佐賀	南波多	前田貞雄	大分	大分
平成9	9	21	120	797	607	726	545.1	388.4	466.3	64.2	63	52.9	6,550	2,705	金:宮崎	尾鈴	黒木学	佐賀	福岡
平成10	9	22	120	800	638	723	532.0	395.7	464.5	64.2	59	50.0	6,600	2,652	金:佐賀	上場	平河良英	佐賀	長崎
平成11	9	23	120	798	621	726	546.5	395.2	465.3	64.1	57	47.5	6,000	2,641	金:宮崎	こばやし	奥野正道	佐賀	福岡
平成12	9	24	120	798	613	725	527.6	381.6	466.1	64.3	62	52.5	7,000	2,709	金:佐賀	伊万里市	坂本一之	宮崎	宮崎
平成13	9	25	136	800	628	733	540.7	389.9	470.4	64.2	49	36.8	7,050	2,527	金:佐賀	伊万里市	市丸千代子	宮崎	長崎
平成14	9	26	136	800	607	734	529.1	392.8	473.5	64.5	29	21.3	7,200	2,584	金:宮崎	はまゆう	藤元次夫	宮崎	鹿児島
平成15	9	27	136	800	635	733	545.6	396.2	472.6	64.4	43	31.6	8,000	2,688	金:佐賀	上場	山口伸彦	宮崎	佐賀
平成16	9	28	136	798	631	735	533.5	406.9	477.5	64.9	27	20.0	8,050	2,809	金:宮崎	はまゆう	武田進一	宮崎	宮崎
平成17	9	29	136	809	656	753	546.5	426.3	486.1	64.6	48	35.8	9,000	2,996	金:鹿児島	鹿児島いずみ	中山正美	宮崎	佐賀
平成18	8	30	136	809	596	745	556.7	359.8	483.3	64.9	32	23.5	10,000	2,868	金:熊本	あしきた	山本勝	宮崎	大分
平成19	9	31	136	810	640	746	543.6	402.0	483.8	64.7	36	26.4	10,050	2,873	金:宮崎	宮崎中央	小倉光彦	長崎	沖縄